



現場から（最近のニュースから）

価値ある人生



年が切り替わるとき、新しい年は「幸せになりますように」と願う人もおられるでしょう。では、どのなれば幸せだと言えるのでしょうか。人によって違うでしょうが、「幸福感を追求すると逆効果になる」と言われている記事がありました。

その記事によると、たいいてい人は「幸福感」について、当たり前のように、何らかの目標を達成することで得られるものだと考えているということです。「憧れの仕事に就く」「家をもつ」「結婚する」など、目標を持っているだろうということですが、そのように「自分の目標を達成してこそ、自分は幸せになれる」と思うなら、とんでもないことになるということです。なぜなら、その目標は、いつ失われるか分からないものだからということです。そして、目標というのは、「いまここにはないこと」を追い求めることなので、いつまでも追い求めるだけになるということです。

少し前のスポニチアネックスの記事に、イチロー選手が高校生に「世界一を経験。達成した後に大切なこと」は、と質問されたときに言ったことばが出ていました。「僕はシーズンでは世界一になれなかったけど。日本代表ではなかったけどね。大事なことはもう終わった時点で、残酷だけど終わってるんだよね。引きずっていたら次に進めない。全部、過去になっているからね。ずっと持っている人は次にいけない。終わって、そこで死ぬねばいいけど、そこには元気な人がいるからね」と言ったそうです。（12月17日スポニチアネックスより）たしかに、たとえ世界一を手に入れても、その目標はそこで過去になっているので、そこで幸せでい続けることはできないでしょう。

最初に書いた「幸福感」についての記事では、人生を豊かにするためには「充足感」を求めようと言われていました。自分が夢中になっていることや、自分にとって大きな意味があることを追求し、それに携わることによって、「価値ある人生を生きる過程」で得られる「充足感」を求めているれば、持続しやすいので、失望や悲しみ、喪失感、怒りといったほかの感情に対処しやすくなり、喜びや高揚感、倦怠感や失望、悲しみ、恐れ、不安、さらには気まずい、恥ずかしいという思いまで、さまざまな感情を受け入れやすくなるということです。それが人生を豊かにすると記事では言われていました。（12月24日LIFEHACKER<幸福の追求はNG。人生を豊かにするシンプルなコツ>より）

自分の人生には価値があり、自分が生きていることが価値あるという確信があれば、なにがあっても、自分が価値ある人生を歩むためにあると考えることができるので、その場その場の感情やできごとに流されにくくなるでしょう。そして、いまが幸せだと感じることもできるでしょう。では、どうしたら、自分の人生に価値があると確信を持つことができるのでしょうか。人から言われたり、なにかによって得る確信は、いつかなくなり、終わってしまう不確定なものです。そのような確信ではなく、永遠に絶対に変わらなく自分の価値を見つけることができます。あなたの人生がほんとうに豊かで価値あるものになるために、あなた自身の価値について新しく見てみませんか。

救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあり、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になる、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快樂に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(1ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってくださいましたことを感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください